

# SD法測定量を削減した印象共有方式の提案

Color Impression Sharing with Reduction of Psychometric Measurements

西山陸人・法制・倫理分科会・中央大学

## 研究背景・研究目的

近年、カラーユニバーサルデザインのような色覚の多様性に配慮する流れがある。しかし、配慮の対象としては色の見え方のみであり、人によって異なる印象までは考慮されていない。本研究では、絵画に色補正を施すことで人の印象を共有することを目的とする。

## 提案手法

絵画に対する色の補正にはガンマ補正を用い、印象の共有の判定にはSD法を用いる。ガンマ補正值によって構築されるパラメータ空間とSDスコアによって構築される印象空間を単体写像によってモデル化することで印象の共有を行う。本研究では、印象空間における目標点方向に点を逐次的に追加し、単体の再構築を繰り返す。一連の動作により、非線形空間である印象空間内の探索を可能とする。

## 今後の予定

- パラメータ空間と印象空間の次元が異なる場合への対処
- 測定回数の削減だけでなくより正確な印象共有法の検討